

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 ☒ 支 援 部 門 消防-11 指令活動事業									
主管課	指令情報課				関連課					
分野名	地域安全									
目標 (目標値)	市民等を各種災害から保護するため									
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考		
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯				
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	133,215		110,371		87,891				
	(国・県)	4,050				1,389				
	(負担金等)	34,200		17,600						
	(一般財源)	94,965		92,771		86,502				
	人員配置数	13.0人		13.0人		13.0人				
	人 件 費(千円)	106,764		108,856		118,182				
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	239,979		219,227		206,073				
	市民1人当りの経費(円)	1,349		1,237		1,163				
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒									
指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
指令活動事業の達成率	○	目標値	100%	100%	100%	100%	100%			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	○	○	○	○				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
指令活動事業	133,215	指令活動事業	1,282,498	今後の 方向性	A	理由 ・手法	平成27年度の消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センターの運用開始に伴い、継続的な維持管理及び定期的なシステムの更新を図る。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	消防救急デジタル無線(活動波)の整備事業に係る実施設計及び高機能消防指令センターの整備に向け設計図書の作成										
課題解決のための取組	高機能消防指令センターの整備に係る基本図書(仕様書等)を作成する。					取組の結果	☒ 解決 ☐ 未解決				
未解決の課題	消防救急デジタル無線(共通波・活動波)と高機能消防指令センターの運用に向け、相互の機能を十分に活用できるよう知識技能の習得を図る。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	消防救急無線のデジタル化に伴い、電気通信分野の高度化が図られています。高機能消防指令センターの整備は、消防救急デジタル無線の機能を十分に活用するための重要な事業であり、多様化する災害に対し迅速で的確な指令業務を実施することで市民等への更なる安全と安心の提供を図りたい。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		A	
								※□事業完了			

評価者名

指令情報課長

秋元弘和

山本富政

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
指令活動 事業	既存の緊急情報システムの維持管理、消防救急無線デジタル化に伴う共通波・活動波の整備及び通信指令システムの運用。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		225	消耗品費	1,331	1,319	○	○	○	○
		225	空調機等修繕料	1,000	499	○	○	○	○
		225	備品修繕料	289	139	○	○	○	○
		225・289	指令専用回線等電信料	10,066	8,717	○	○	○	○
		225	無線機定期点検委託料	949	949	○	○	○	○
		225・289	緊急情報システム保守点検委託料	21,013	21,012	○	○	○	○
		289	活動波整備実施設計委託料	9,883	9,440	○	○	○	○
		225	緊急情報システム(無停電電源装置)等賃借料	392	391	○	○	○	○
		289	緊急情報システム賃借料	30,729	30,729	○	○	○	○
		289	消防OAシステム賃借料	10,859	10,859	○	○	○	○
		289	指令制御装置賃借料	4,804	4,804	○	○	○	○
		289	無停電電源装置賃借料	1,067	1,067	○	○	○	○
		289	災害緊急情報伝達装置賃借料	623	622	○	○	○	○
		289	直流電源装置賃借料	764	764	○	○	○	○
		289	位置情報システム装置賃借料	1,462	1,462	○	○	○	○
		289	Eメール119番通報システム賃借料	177	177	○	○	○	○
		225	災害緊急情報鎌倉エフエム負担金	1,920	1,920	○	○	○	○
289	共通波整備負担金	40,552	38,345	○	○	○	○		
※ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※ 事業完了							
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※ 事業完了							
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※ 事業完了							